

第 59 回 岐阜市中小企業景況調査結果

1 調査要領

- (1) 調査時期 令和 4 年 7 月
- (2) 調査依頼企業数 300 企業
- (3) 調査対象期間 令和4年 1 - 6月期実績(今期)
令和4年 7 - 12月期見通し(来期)
- (4) 回答状況 有効回答数 167 企業
有効回答率 55.7 %

《業種別内訳》

業 種	依頼数	回答数	回答率
製造業	44	27	61.4%
農林漁業	1	1	100.0%
建設業	36	24	66.7%
情報通信業	2	1	50.0%
運輸業、郵便業	6	3	50.0%
卸売業、小売業	96	55	57.3%
金融業、保険業	3	1	33.3%
不動産業、物品賃貸業	12	6	50.0%
学術研究、専門・技術サービス業	13	6	46.2%
宿泊業、飲食サービス業	16	10	62.5%
生活関連サービス業、娯楽業	32	13	40.6%
医療、福祉業	14	10	71.4%
サービス業(他に分類されないもの)	25	10	40.0%
合 計	300	167	55.7%

(5) 調査事項

- ① 売上高(受注高) ② 採算水準
③ 製品(商品)在庫 ④ 資金繰り
⑤ 借入難易 ⑥ 設備投資
⑦ 経営上の問題点 ⑧ 業況判断
⑨ 従業員の充足状況
⑩ DX(デジタル・トランスフォーメーション)

- ⑪ 業績への影響 ⑫ 主なマイナス要因
⑬ 事業活動面の対策状況 ⑭ 勤務体制
⑮ 必要であると考えられる支援 ⑯A 原油高
⑯B 原材料高 ⑯C 為替変動(円安)

※⑪～⑯は新型コロナウイルス感染症、原油高・原材料高・
為替変動に関する特別調査

2 調査結果概要

業況は悪化傾向

業況判断DIは前期比で7.7ポイント減少して▲32.9となり、令和2年7月調査ぶりの悪化となった。業種別にみると、特に農林漁業、建設業、情報通信業、サービス業で悪化している。業況判断DI以外の数値では、採算DIが▲10.8と、令和2年7月調査から5期連続で赤字企業数が黒字企業数を上回る状況が続いている。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)について、「取り組んでいる」又は「検討している」企業は49.4%で、「取り組む予定はない」とする企業は50.6%であった。

DXの成果の見込みが不明など、必要性を感じない割合が、全体の31.8%となった。

回答日現在(7月)までにおいて、新型コロナウイルス感染症により「マイナス影響が発生した」とする企業は82.6%であった。

原油高の影響により「マイナス影響が発生した」とする企業は73.1%にのぼり、原材料高の影響により「マイナス影響が発生した」とする企業も78.4%にのぼった。

また、為替変動(円安)の影響により「マイナス影響が発生した」企業は47.3%となった。

(1)全体の景況

①売上高

今期、売上が「増加した」とする企業は、25.7%と前期の23.0%から2.7ポイントの増加となった。

一方、「減少した」とする企業は、41.9%と前期の39.3%から2.6ポイントの増加となった。

DI値は、0.1ポイント改善して▲16.2となった。

	増加	横ばい	減少	DI
前期 (R3年 7 - 12月)	23.0%	37.7%	39.3%	▲ 16.3
今期 (R4年 1 - 6月)	25.7%	32.4%	41.9%	▲ 16.2
来期見込 (R4年 7 - 12月)	19.2%	44.9%	35.9%	▲ 16.7

②採算水準

今期、採算が「黒字」とする企業は、30.5%と前期の27.6%から2.9ポイントの増加となった。

一方、「赤字」とする企業は、41.3%と前期から変化なしとなった。

DI値は、2.9ポイント改善して▲10.8となった。

	黒字	収支均衡	赤字	DI
前期 (R3年 7 - 12月)	27.6%	31.1%	41.3%	▲ 13.7
今期 (R4年 1 - 6月)	30.5%	28.2%	41.3%	▲ 10.8
来期見込 (R4年 7 - 12月)	23.5%	45.8%	30.7%	▲ 7.2

③製品(商品)在庫

今期、製品(商品)在庫が「不足」とする企業は、12.4%と前期の17.6%から5.2ポイントの減少となった。

一方、「過剰」とする企業は、15.0%と前期の13.7%から1.3ポイントの増加となり、

「過剰」とする企業が「不足」とする企業を2.6ポイント上回っている。

	不足	適正	過剰	不足-過剰
前期 (R3年 7 - 12月)	17.6%	68.7%	13.7%	3.9
今期 (R4年 1 - 6月)	12.4%	72.6%	15.0%	▲ 2.6

④資金繰り

今期、資金繰りが「楽になった」とする企業は、3.0%と前期の6.1%から3.1ポイントの減少となった。

一方、「苦しくなった」とする企業は、24.1%と前期の25.5%から1.4ポイントの減少となった。

DI値は、1.7ポイント悪化して▲21.1となった。

	楽になった	変わらない	苦しくなった	DI
前期 (R3年 7 - 12月)	6.1%	68.4%	25.5%	▲ 19.4
今期 (R4年 1 - 6月)	3.0%	72.9%	24.1%	▲ 21.1
来期見込 (R4年 7 - 12月)	3.0%	71.1%	25.9%	▲ 22.9

⑤借入難易

今期、借入が「容易になった」とする企業は、1.2%と前期の6.2%から5.0ポイントの減少となった。
 一方、「難しくなった」とする企業は、5.5%と前期の5.2%から0.3ポイントの増加となった。
 DI値は、5.3ポイント悪化して▲4.3となった。

	容易になった	変わらない	難しくなった	DI
前 期 (R3年 7 - 12月)	6.2%	88.6%	5.2%	1.0
今 期 (R4年 1 - 6月)	1.2%	93.3%	5.5%	▲ 4.3

⑥設備投資

今期、設備投資を「行った」とする企業は、22.8%と前期の28.6%から5.8ポイントの減少となった。
 一方、「行わなかった」とする企業は、77.2%と前期の71.4%から5.8ポイントの増加となった。

	行った	行わなかった
前 期 (R3年 7 - 12月)	28.6%	71.4%
今 期 (R4年 1 - 6月)	22.8%	77.2%
来期見込 (R4年 7 - 12月)	26.3%	73.7%

⑦経営上の問題点 (別紙)

⑧業況判断

今期、業況が「良かった」とする企業は、20.4%と前期の22.2%から1.8ポイントの減少となった。
 一方、「悪かった」とする企業は、53.3%と前期の47.4%から5.9ポイントの増加となった。
 DI値は、7.7ポイント悪化して▲32.9となった。

	良かった	良悪なし	悪かった	DI
前 期 (R3年 7 - 12月)	22.2%	30.4%	47.4%	▲ 25.2
今 期 (R4年 1 - 6月)	20.4%	26.3%	53.3%	▲ 32.9
来期見込 (R4年 7 - 12月)	15.7%	38.0%	46.1%	▲ 30.4

⑨従業員の充足状況

今期、従業員数が「不足」とする企業は、23.9%と前期の28.9%から5.0ポイントの減少となった。
 一方、「過剰」とする企業は、9.8%と前期の9.6%から0.2ポイントの増加となり、
 「不足」とする企業が「過剰」とする企業を14.1ポイント上回っている。

	不足	適正	過剰	不足-過剰
前 期 (R3年 1 - 6月)	28.9%	61.5%	9.6%	19.3
今 期 (R3年 7 - 12月)	23.9%	66.3%	9.8%	14.1

⑩DX (デジタル・トランスフォーメーション) について

DXについて、「取り組んでいる・予定している」又は「検討している」企業は、全体の49.4%となった。
 DXの推進に向けた課題として、最も多かったのは「必要なスキル・ノウハウがない(27.6%)」であった。
 また、DXの成果の見込みが不明など、必要性を感じない割合が、全体の31.8%となった。

イ DXへの取り組み状況	企業構成比
取り組んでいる・取り組みを予定している	17.3%
検討している	32.1%
取り組む予定はない	50.6%

ロ DX推進に向けた課題	企業構成比
必要なスキル・ノウハウがない	27.6%
人材不足	21.9%
必要性がない	15.1%
予算不足	14.1%
成果の見込み不明	11.5%
理由が不明	5.2%
相談窓口不明	2.6%
その他	2.1%

～新型コロナウイルス感染症対応に関する特別調査～

⑪業績への影響

回答日現在(令和4年7月)までの新型コロナウイルス感染症による業績への影響について、

「マイナス影響が発生した」企業は82.6%であった。

一方、「プラス影響が発生した」、または「変化なし」とする企業は15.0%であった。

現在までの業績への影響	企業構成比
大幅なマイナス影響が発生した	36.5%
一部にマイナス影響が発生した	46.1%
プラス影響が発生した	1.8%
変化なし	13.2%
分からない	2.4%

今後の業績の見通し	企業構成比
マイナスが拡大する	15.6%
マイナスが縮小する	27.5%
マイナスからプラスに転じる	7.2%
引き続きプラスになる	2.4%
プラスからマイナスに転じる	3.6%
変化なし	22.8%
分からない	21.0%

⑫主なマイナス要因

⑪でマイナス影響が発生した・発生すると見込まれる企業の主なマイナス要因について

最も多かったのが「国内営業・販売の減少」(42.5%)であり、次いで「活動自粛」(18.7%)であった。

主なマイナス要因	企業構成比
国内営業・販売の減少	42.5%
活動自粛	18.7%
国内外出・移動制限	11.9%
国内物流・生産の減少	9.0%
固定費負担増	9.0%
国外物流・生産の減少	4.5%
サプライチェーンの棄損	1.5%
国外営業・販売の減少	0.7%
その他	2.2%

⑬事業活動面の対策状況

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、事業活動の対策として、最も多かったのが「公的支援策の活用・情報収集(22.8%)」であった。

対策状況	企業構成比
公的支援策の活用・情報収集	22.8%
既存送品・サービスの提供方法の見直し	13.1%
新たな商品・サービスの開発	12.5%
営業活動・打合せのオンライン化	10.3%
金融機関などの活用・情報収集	9.2%
対策がわからない	8.6%
設備投資計画の延期・延長	6.7%
雇用従業員数・役員数の削減	4.4%
対策は必要ない	4.4%
事業自体の休廃業	3.6%
販売拠点の縮小・一時閉鎖	1.4%
事業自体の譲渡	1.4%
国内別拠点での代替生産や販売	0.6%
海外別拠点での代替生産や販売	0.6%
その他	0.6%

⑭勤務体制

新型コロナウイルス感染症の拡大に起因し、勤務体制を変更した企業は28.4%であった。

そのうち、64.7%の企業が回答日現在も変更した勤務体制を維持している。

勤務体制の変更の実施	企業構成比
変更していない	71.6%
変更した	28.4%

勤務体制の内容	企業構成比
出退勤時間の見直し(フレックスタイムの利用)	26.5%
勤務日数の変更	22.9%
休業・自宅待機	18.1%
会議・事務手続きのオンライン化	15.7%
テレワーク(在宅勤務)の実施	13.3%
サテライトオフィス活用	1.2%
その他	2.4%

現在の実施状況	企業構成比
実施している	64.7%
実施していない	35.3%

⑮必要であると考えられる支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自社で求められている支援として「新型コロナウイルス感染症対策に伴う経費補助(15.2%)」が最も多く、次いで「従業員の雇用に関する支援(14.6%)」であった。

必要な支援	企業構成比
新型コロナウイルス感染症対策に伴う経費補助	15.2%
従業員の雇用に関する支援	14.6%
資金繰り支援(融資)	12.9%
IT導入相談・経費補助	10.6%
販売開拓支援	9.7%
DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進支援	8.0%
事業承継支援	6.0%
経営相談	4.3%
事業継続計画作成支援	4.0%
起業・創業・新事業開発支援	3.7%
テレワークなどへの支援	2.6%
その他	0.6%
特になし	7.7%

⑩A 原油高

原油高の影響により、「マイナス影響が発生した」企業は、全体の73.1%にのぼった。
一方で、「プラス影響が発生した」、または「変化なし」の企業は、全体の12.9%に留まった。

原油高の影響	企業構成比
大幅なマイナス影響が発生した	25.2%
一部にマイナス影響が発生した	47.9%
プラス影響が発生した	0.6%
変化なし	12.3%
分からない	14.1%

⑩B 原材料高

原材料高の影響により、「マイナス影響が発生した」企業は、全体の78.4%にのぼった。
一方で、「プラス影響が発生した」、または「変化なし」の企業は、全体の10.2%に留まった。

必要な支援	企業構成比
大幅なマイナス影響が発生した	31.8%
一部にマイナス影響が発生した	46.6%
プラス影響が発生した	1.4%
変化なし	8.8%
分からない	11.5%

⑩C 為替変動（円安）

為替変動（円安）の影響により「マイナス影響が発生した」企業は、全体の47.3%となった。
また、「プラス影響が発生した」、または「変化なし」の企業は25.4%となった。

必要な支援	企業構成比
大幅なマイナス影響が発生した	18.5%
一部にマイナス影響が発生した	28.8%
プラス影響が発生した	0.7%
変化なし	24.7%
分からない	27.4%

⑦経営上の問題点 ※23項目のうち3項目以内で複数回答。回答企業がいずれの項目も選択しない場合は「特に問題なし」1件として計上。

「全体」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 民間需要停滞, 価格競争激化, etc.

「製造業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 仕入先からの値上り要請, 民間需要停滞, etc.

「農林漁業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 人件費増加, 仕入先からの値上り要請, etc.

「建設業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 従業員不足, 価格競争激化, etc.

「情報通信業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 官公需要停滞, 従業員不足, 大企業進出による競争激化, etc.

「運輸業、郵便業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 従業員不足, 価格競争激化, etc.

「卸売業、小売業」

Table with 24 columns (1位 to 24位) and 2 rows (前期, 今期). Categories include 仕入単価上昇, 民間需要停滞, 価格競争激化, etc.

(2)業種別の景況

① 製造業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	9.7	3.2	6.4	0.0	3.3	45.2	▲ 9.6	10.0
今 期	37.1	29.7	7.4	▲ 3.7	3.7	48.1	11.1	18.5
来期見通し	18.5	25.9	-	▲ 11.1	-	44.4	3.7	-

② 農林漁業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
今 期	0.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0
来期見通し	0.0	0.0	-	▲ 100.0	-	100.0	▲ 100.0	-

③ 建設業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 20.7	3.4	18.2	▲ 13.8	10.4	24.1	6.9	28.6
今 期	▲ 37.5	▲ 20.9	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	20.8	▲ 54.1	39.2
来期見通し	▲ 25.0	▲ 12.5	-	▲ 29.2	-	16.7	▲ 37.4	-

④ 情報通信業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
今 期	100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0
来期見通し	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	0.0	-

⑤ 運輸業、郵便業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0
今 期	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3
来期見通し	0.0	33.4	-	▲ 33.3	-	100.0	0.0	-

⑥ 卸売業、小売業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 11.1	▲ 20.6	▲ 4.9	▲ 20.7	▲ 3.1	19.0	▲ 30.8	14.7
今 期	▲ 12.7	▲ 20.0	▲ 9.4	▲ 23.7	▲ 7.3	16.4	▲ 34.5	9.1
来期見通し	▲ 14.6	▲ 16.7	-	▲ 23.7	-	25.5	▲ 36.3	-

⑦ 金融業、保険業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	100.0
今 期	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	0.0	100.0	▲ 100.0	0.0
来期見通し	▲ 100.0	▲ 100.0	-	▲ 100.0	-	100.0	▲ 100.0	-

⑧ 不動産業、物品賃貸業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 36.4	0.0	9.1	▲ 45.5	9.1
今 期	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
来期見通し	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	▲ 16.6	-

⑨ 学術研究、専門・技術サービス業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 28.5	▲ 42.8	0.0	▲ 42.9	▲ 16.7	14.3	▲ 42.8	57.1
今 期	▲ 66.7	▲ 50.0	0.0	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 50.0	0.0
来期見通し	▲ 33.3	▲ 16.6	-	▲ 16.6	-	16.7	16.6	-

⑩ 宿泊業、飲食サービス業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 20.0	▲ 80.0	▲ 14.3	▲ 20.0	0.0	50.0	▲ 90.0	0.0
今 期	▲ 30.0	▲ 60.0	0.0	▲ 20.0	0.0	30.0	▲ 70.0	▲ 20.0
来期見通し	▲ 30.0	▲ 50.0	-	▲ 20.0	-	20.0	▲ 60.0	-

⑪ 生活関連サービス業、娯楽業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 52.9	▲ 47.0	0.0	▲ 52.9	0.0	29.4	▲ 58.8	14.3
今 期	▲ 53.8	▲ 46.2	0.0	▲ 41.7	0.0	15.4	▲ 61.6	0.0
来期見通し	▲ 53.8	▲ 38.5	-	▲ 41.7	-	15.4	▲ 75.0	-

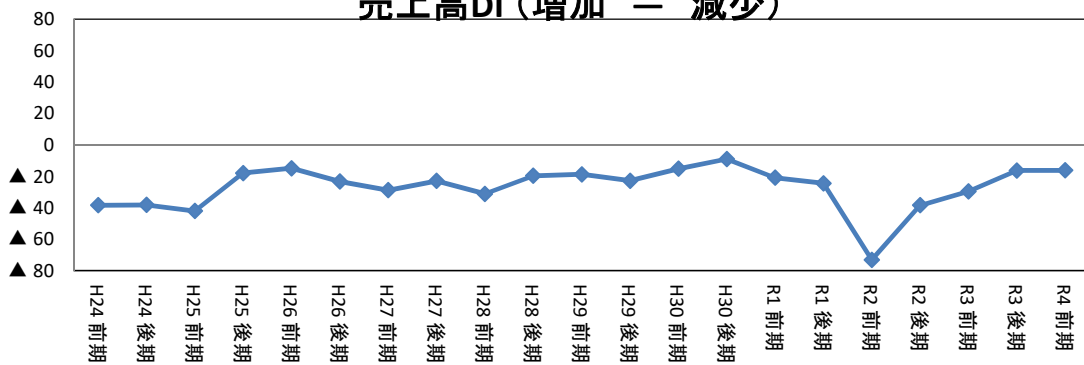
⑫ 医療、福祉業

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 20.0	60.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	50.0	20.0	30.0
今 期	0.0	70.0	33.3	▲ 10.0	▲ 10.0	10.0	0.0	20.0
来期見通し	▲ 10.0	60.0	-	▲ 10.0	-	20.0	▲ 10.0	-

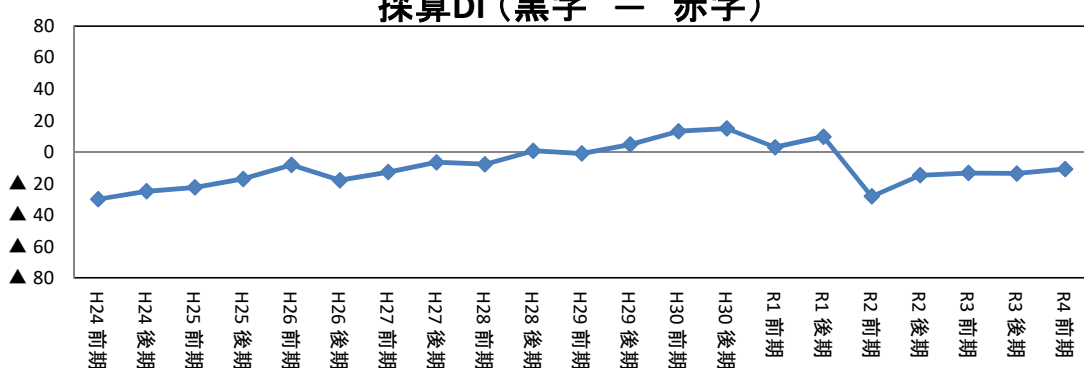
⑬ サービス業（他に分類されないもの）

	売上DI (増加 - 減少)	採算DI (黒字 - 赤字)	在庫 (不足 - 過剰)	資金繰DI (楽 - 苦)	借入DI (易 - 難)	設備投資 (実施割合)	業況DI (良 - 悪)	従業員 (不足 - 過剰)
前 期	▲ 30.8	▲ 15.4	55.6	▲ 15.4	15.4	15.4	▲ 25.1	18.2
今 期	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 10.0	10.0	▲ 40.0	30.0
来期見通し	▲ 50.0	▲ 20.0	-	▲ 30.0	-	20.0	▲ 50.0	-

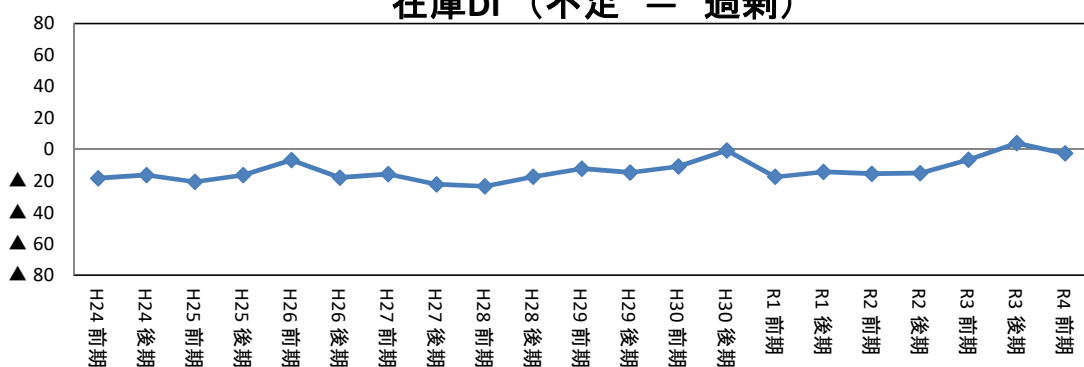
売上高DI (増加 - 減少)



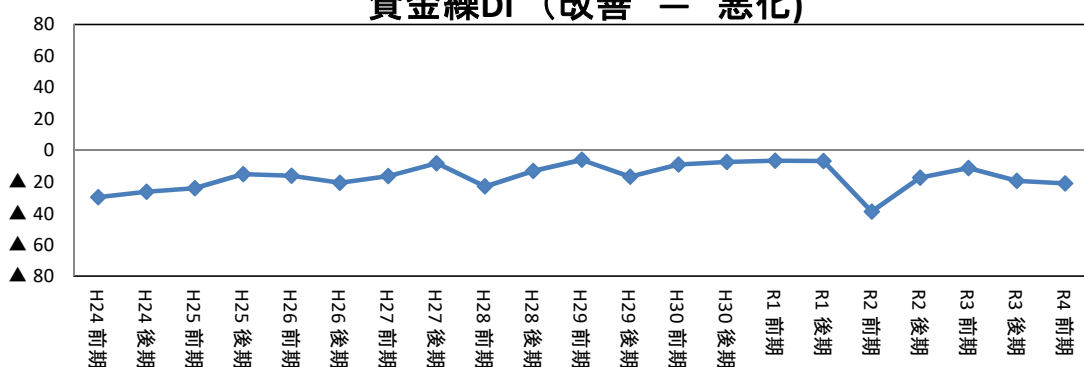
採算DI (黒字 - 赤字)



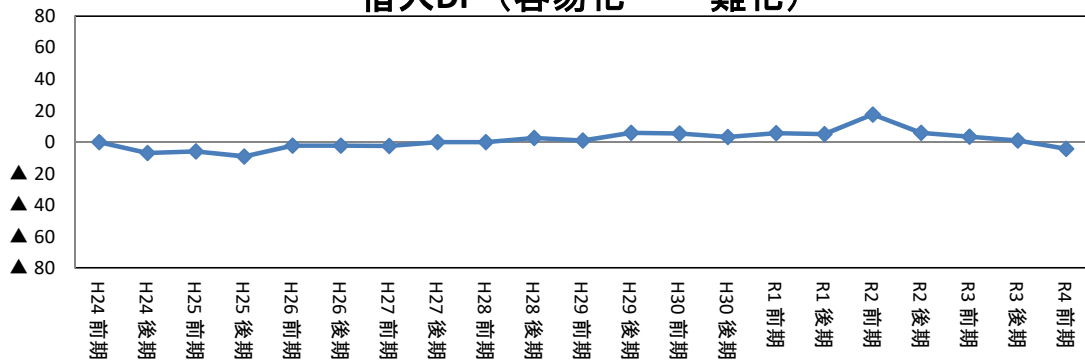
在庫DI (不足 - 過剰)



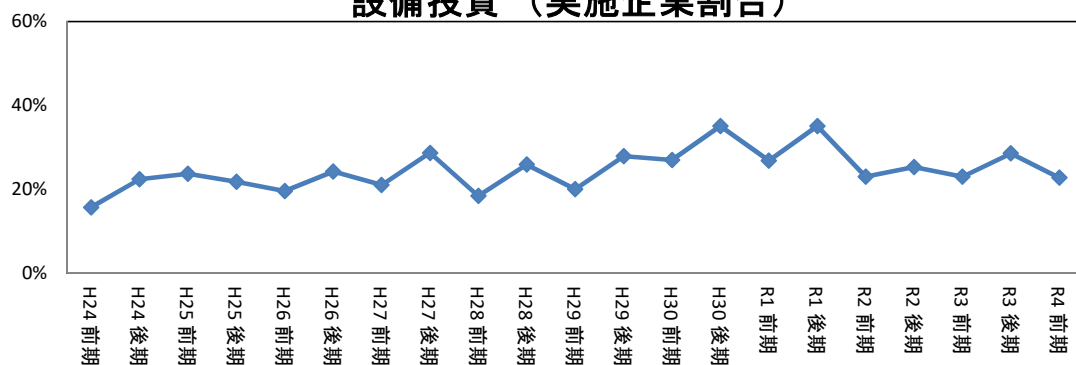
資金繰DI (改善 - 悪化)



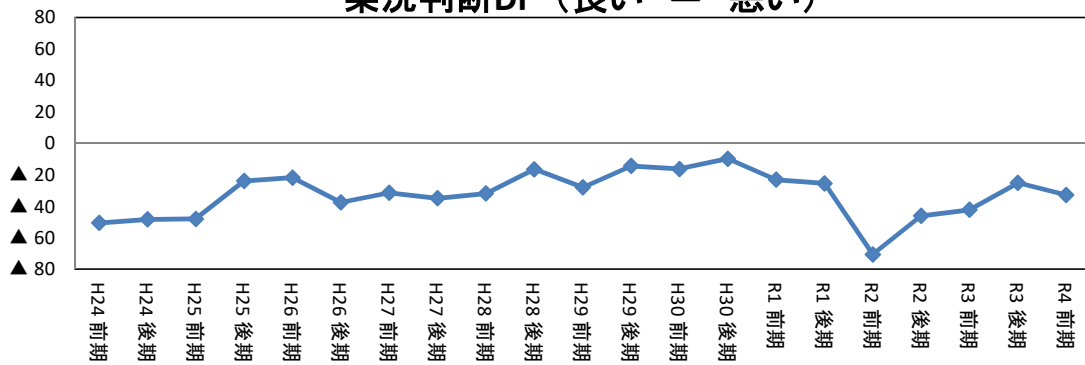
借入DI（容易化 — 難化）



設備投資（実施企業割合）



業況判断DI（良い — 悪い）



従業員数DI（不足 — 過剰）

